

特集

松浦の魅力再発見！

―次代へ漕ぎ出す松浦市―

平成18年1月1日、松浦市、福島町、鷹島町の旧1市2町は、新しい「松浦市」として、その歴史の第一歩を踏み出しました。

松浦には、水産資源や農作物など豊かな自然の恵み、さまざまな伝統行事や史跡など数多くの魅力があります。この魅力を生かし、人と人が協力して作り出す新たな松浦市のまちづくり。

今回は、松浦の魅力を再発見するために、地元で活躍している皆さんに「魅力案内人」として、松浦の魅力を紹介してもらいます。

海でつながる松浦、福島、鷹島
今福港 - 殿ノ浦港をむすぶフェリーが見える

新「松浦市」にはどのくらいの人に住んでいるの？

	人口	男性	女性	世帯数
新「松浦市」	27,804人	13,268人	14,536人	10,296世帯
旧松浦市	21,777人	10,354人	11,423人	8,141世帯
旧福島町	3,292人	1,593人	1,699人	1,149世帯
旧鷹島町	2,735人	1,321人	1,414人	1,006世帯

資料：住民基本台帳（平成18年1月1日）

特集 松浦の魅力再発見!



11万本のツツジが満開の不老山総合公園

松浦市には、豊かな自然が多く、それらを生かしたたくさんさんの魅力があります。特に、11万本のツツジが見ごろと



魅力紹介人①

谷田

紀子^{のりこ}さん（星鹿、20）
松浦よかごと大使

なる4月下旬に開催される「不老山花と光のフェスタ」は、多くのイベントが開催され、市内外から多くの観光客が訪れ賑わいます。満開のツツジの向こうに見える市街地や松浦火力発電所、そして大海原に浮かぶ島々を望む風景はまさに絶景です。そのほか、日本有数のあじさばの水揚げ量を誇る松浦市では、「旬あじ」「旬さば」として松浦魚市場で水揚げされる魚をPRしています。今が旬の「旬さば」は、脂が程よく乗っているので、刺し身や塩焼きなど、どんな調理法でもたまらないおいしさが味わえます。

松浦市には、火力発電所で使用する石炭の輸入がきっかけとなり始まった、オーストラリアのマッカー市との交流があるので、国内外との交流人口拡大を通じて松浦市民が増加してほしいと思います。松浦に住む人みんなが楽しく笑顔で暮らせる、そんな松浦市になってほしいです。今後は松浦の魅力を求めて、全国から多くの人が訪れる松浦市になることを願っています。

松浦よかごと大使とは・・・
各イベント等で松浦市の魅力をPRするために毎年選ばれていて、松浦水軍まつりなどで活躍しています。

松浦魅力図鑑①

松浦を食べる

水産資源が豊富な松浦市、松浦魚市場で水揚げされるブランド魚「旬あじ」「旬さば」をはじめ、「福島クルマエビ」「とらふぐ」など、豊かな海の幸に恵まれています。海の幸だけでなく、「アールスメロン」「御厨ぶどう」「福島コシヒカリ」などの農産物も有名で、豊富な魅力があふれています。

松浦商工会議所では、「旬あじまつり」「旬さばまつり」「松浦とらふぐまつり」を開催し、認定店舗でその味



国民宿舎つばき荘自慢の地元クルマエビフルコース

ブランド魚「旬さば」の刺し身



を楽しむことができます。また、福島の国民宿舎つばき荘では、地元のおいしい食材を生かした「クルマエビ」「ふぐ」「黄金ヒラメ」「アワビ」のフルコースが、鷹島のモンゴル村では、「鷹の華セット（ふぐさしセット）」の販売など、魅力を生かした料理や特産品を味わうことができます。海の幸と山の幸に恵まれ、一年を通じておいしい魅力があふれる松浦市です。